



資料編

- 1 中央区の観光に関するアンケート調査
- 2 観光関係者ヒアリング
- 3 中央区観光振興ビジョン2012策定委員会について

1 中央区の観光に関するアンケート調査

平成 23 年(2011 年)10 月～11 月に実施した中央区民への郵送アンケート調査(以下「区民郵送調査」と、インターネットによる来街者ウェブアンケート調査(以下「ウェブ調査」)の結果にもとづいて中央区の観光に関する来街者の評価をまとめます。

調査の概要

《調査目的》

「中央区観光振興ビジョン 2012」策定に際しアンケートを行い、今後の中央区の観光施策構築に資するデータの作成を目的にアンケート調査を実施しました。

《アンケート対象者》

中央区民の他、最近 1 年間にビジネス以外で中央区に来街した東京都民(中央区民除く)埼玉・千葉・神奈川、及び首都圏以外の地域居住者を対象としました。

《調査方法》

① 区民郵送調査・中央区民 発送数：900 人

住民基本台帳より無作為抽出し、郵送留置アンケートにより行いました。中央区 3 地域の人口比率に基づき下記の通り発送しました。

- ・ 京橋地域： 228 人
- ・ 日本橋地域：266 人
- ・ 月島地域： 406 人

アンケートのサンプル数配分 (単位：人)

	人口	比率	発送数
合計	119,256	100%	900
京橋	30,208	25%	228
日本橋	35,303	30%	266
月島	53,745	45%	406

(各地域の人口は調査設計を行った平成 23 年(2011 年)8 月 1 日時点での、「住民基本台帳による世帯と人口」による)

② ウェブ調査・サンプル数 600 人

1 都 3 県在住者 300 人(中央区以外)

20～60 代(各世代：男性 30 人、女性 30 人)

1 都 3 県以外在住者 300 人

20～60 代(各世代 男性 30 人、女性 30 人)

＜＜調査期間＞＞

- ① 区民郵送調査…平成23年（2011年）10月22日（土）～11月7日（月）消印
- ② ウェブ調査…平成23年（2011年）10月25日（火）～28日（金）

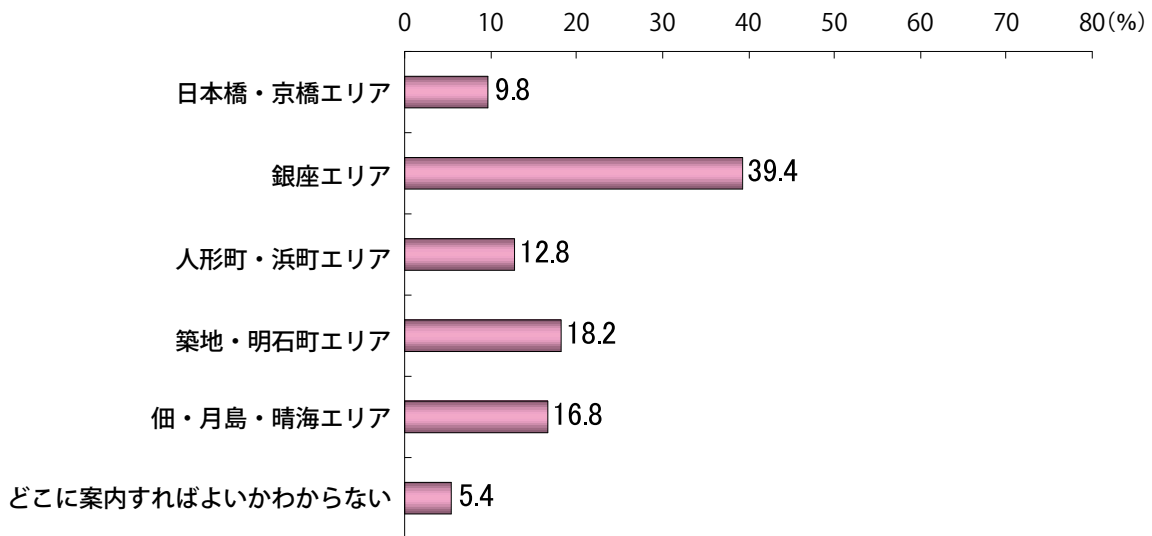
＜＜回答者概要＞＞

（単位：人）

区 分		回答者数	男性	女性	無回答
合計		897	421	474	3
区民郵送調査		297	120	174	3
居住地別	日本橋・京橋エリア	23	10	13	0
	銀座エリア	10	4	5	1
	人形町・浜町エリア	86	34	52	0
	築地・明石町エリア	61	23	38	0
	佃・月島・晴海エリア	114	49	65	0
	居住地不明	3	0	1	2
ウェブ調査		600	300	300	0
居住地別	都内居住者（中央区以外）	132	68	64	0
	埼玉・千葉・神奈川	168	82	86	0
	首都圏以外居住者	300	150	150	0

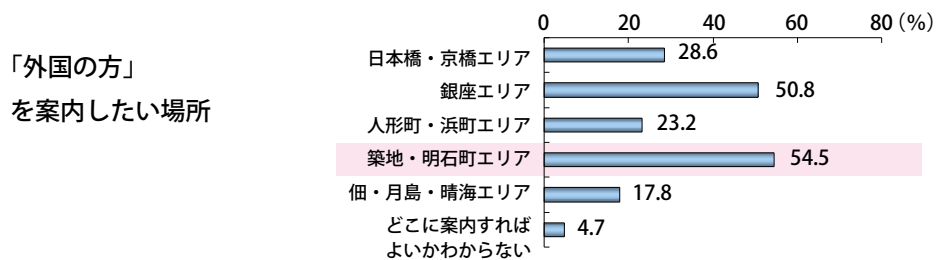
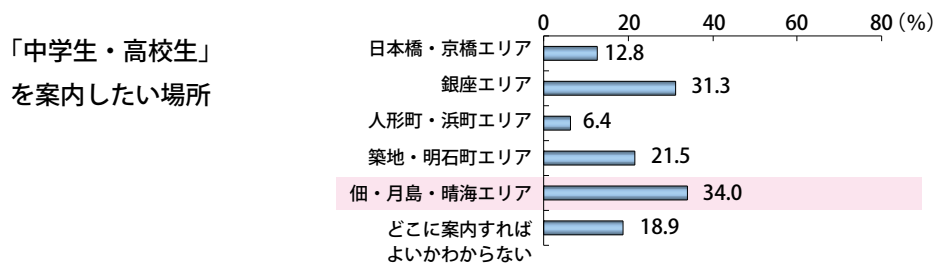
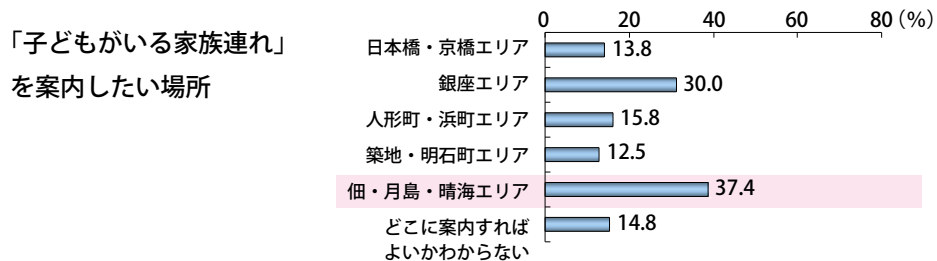
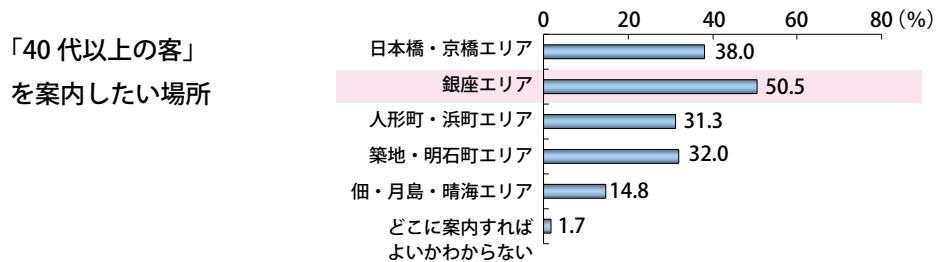
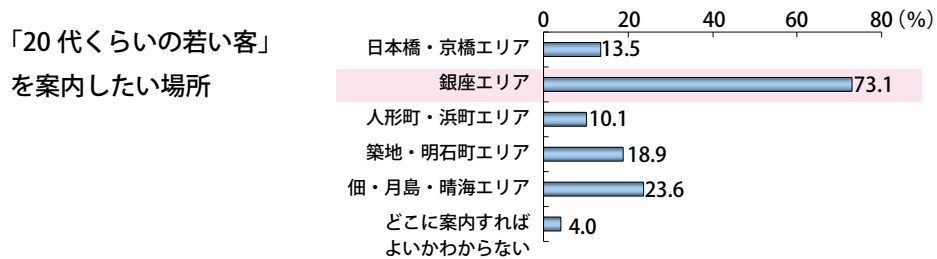
(1) 区民が訪問客を案内したい場所（区民郵送調査）

区外から来た友人・知人などの訪問客を必ず案内したい場所について、5つのエリアから一つだけを区民に選んでもらったところ、「銀座エリア」と答えた人が最も多くなっています。しかし、「銀座エリア」を選ぶ人が過半数を占めるまでには及ばず、各エリアそれぞれを支持している区民が一定数いることから、区民は中央区全域にそれぞれの魅力を感じていることが伺えます。



(2) 区民が訪問客別に案内したい場所 (区民郵送調査)

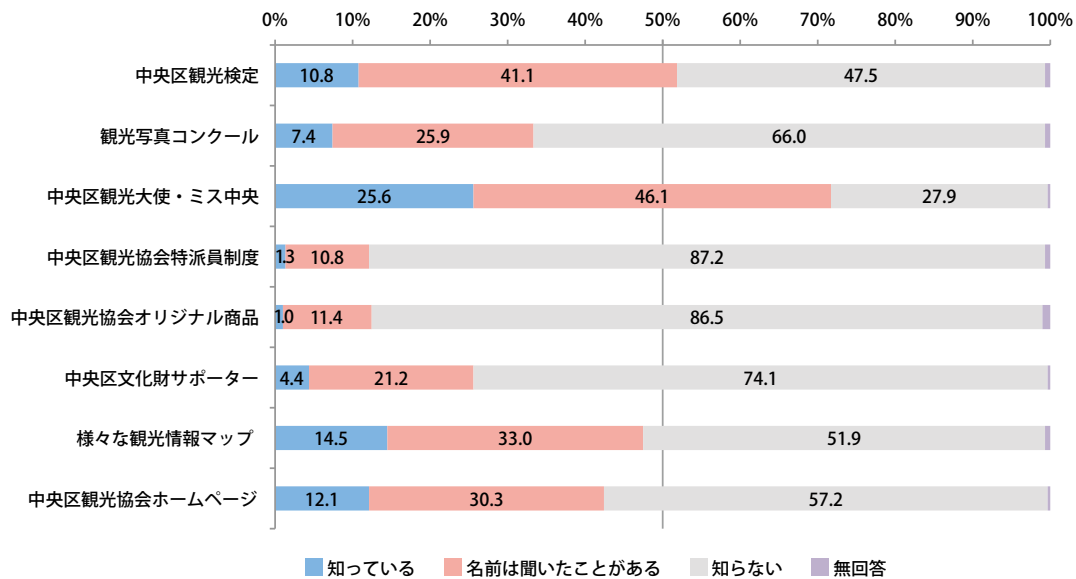
様々な訪問客を想定してそれぞれを案内したい場所を質問したところ、年齢などの特性により、違いがあることが分かりました。「20代くらいの若い客」や「40代以上の客」では、「銀座エリア」が選ばれていますが、「子どもがいる家族連れ」と「中学生・高校生」の場合は「佃・月島・晴海エリア」が最も多く、「外国の方」の場合は「築地・明石町エリア」が最も多く選ばれています。また、「子どもがいる家族連れ」と「中学生・高校生」については「どこに案内すればよいかわからない」と答える人が目立ち、中央区は大人の向けのまち、もしくは子ども向けの観光資源が少ないなどと認識されていることが伺えます。



：最も多かった回答

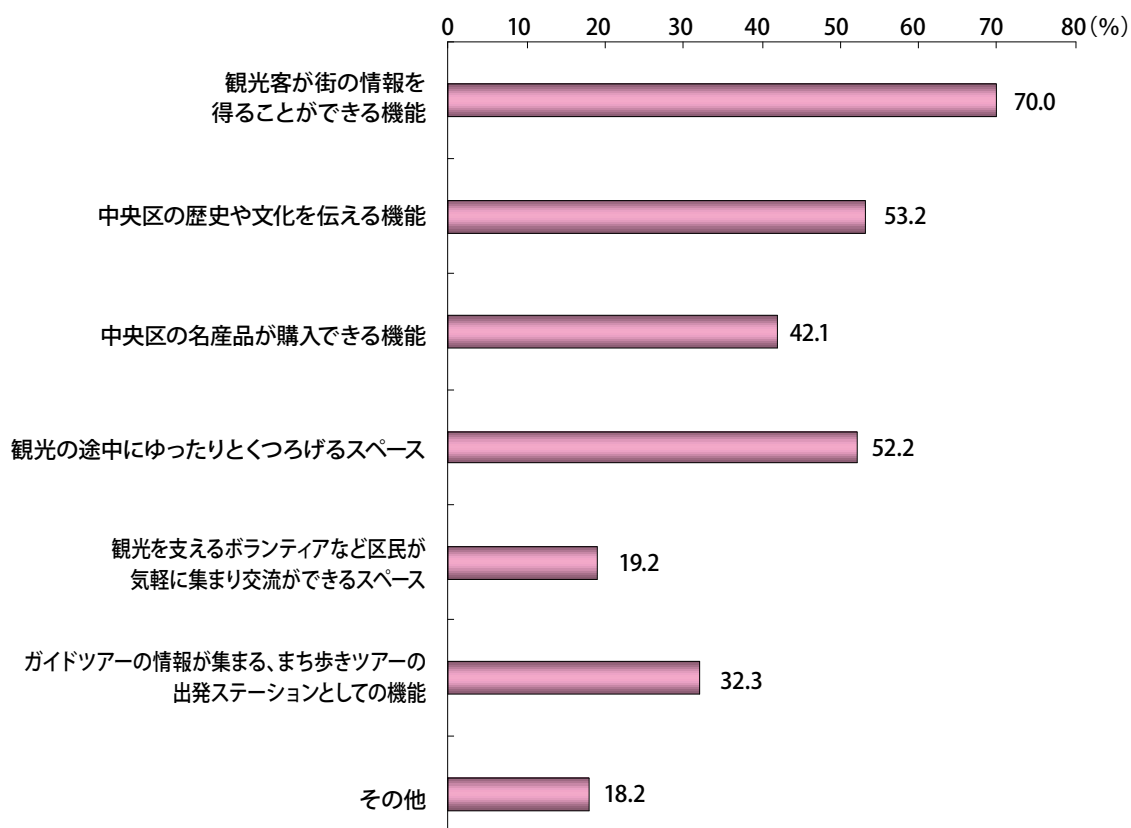
(3) これまでの観光事業の認知状況 (区民郵送調査)

これまでの観光事業について知っているかどうかを区民に質問したところ、半数以上の人が「知っている」もしくは「名前は聞いた事がある」と答えた事業は「中央区観光大使・ミス中央」と「中央区観光検定」となっています。「中央区観光特派員制度」や「中央区観光協会オリジナル商品」はあまり知られておらず、広報活動や情報発信に工夫が必要と考えられます。



(4) 「中央区観光拠点（仮称）」の機能（区民郵送調査）

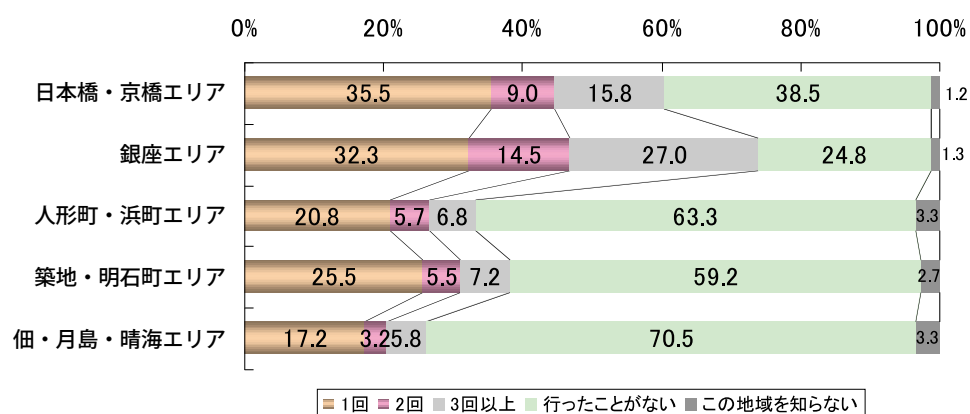
「中央区観光拠点（仮称）」に求められる機能を区民に質問したところ、回答が最も多かったのは「観光客が街の情報を得ることができる機能」となっており、観光案内機能が求められていることがわかります。「中央区の歴史や文化を伝える機能」と答えた人も半数を超え、上位2つより、観光に関する情報をより多く発信することが求められていると考えられます。また半数以上の人々が「観光の途中にゆったりとくつろげるスペース」を選んでいることから、まちの中にくつろげるスペースが少ないと感じている人が多いと考えられます。



(5) 中央区各エリアの来街頻度、来街目的 (ウェブ調査)

来街頻度

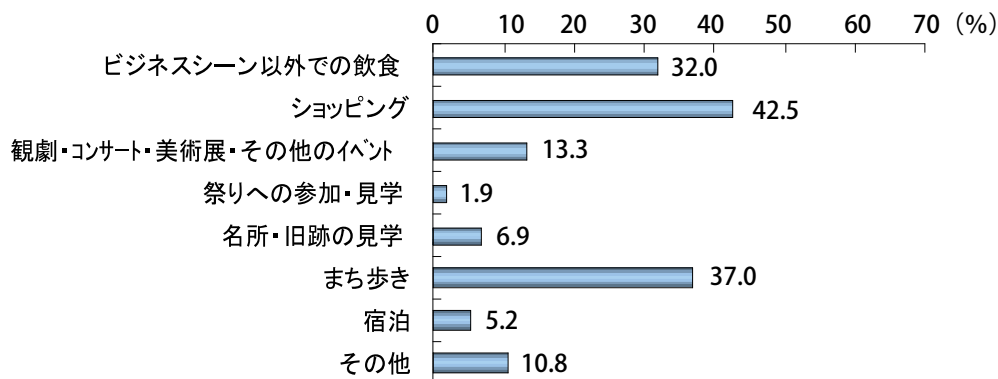
最近一年間に訪れた中央区の各エリアについて質問したところ、回答者の6割以上が「日本橋・京橋エリア」「銀座エリア」を訪れており「3回以上」訪れているリピーターの比率も高いことがわかりました。この2つのエリアの高い集客力を活かして他のエリアへの回遊性を高めることが有効と考えられます。



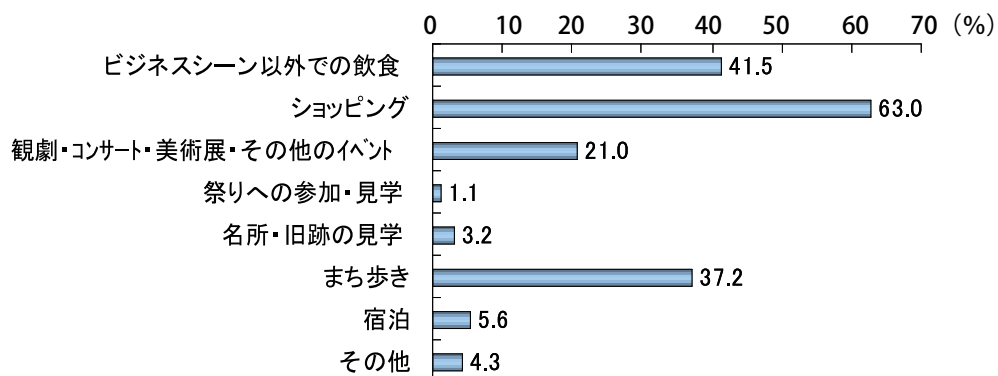
来街目的

「日本橋・京橋エリア」「銀座エリア」をはじめ、全体的に「ショッピング」「ビジネスシーン以外での飲食」が目的で訪れる人が多くなっていますが、近年人気が高まりつつある「まち歩き」が目的で訪れる人も多くなっています。とくに「人形町・浜町エリア」では、「まち歩き」と回答する人が最も多くなっています。「まち歩き」が目的で訪れた人が中央区の魅力により多く触れられるよう、利便性や回遊性を高めて滞在時間を延ばすなどの工夫が有効と考えられます。

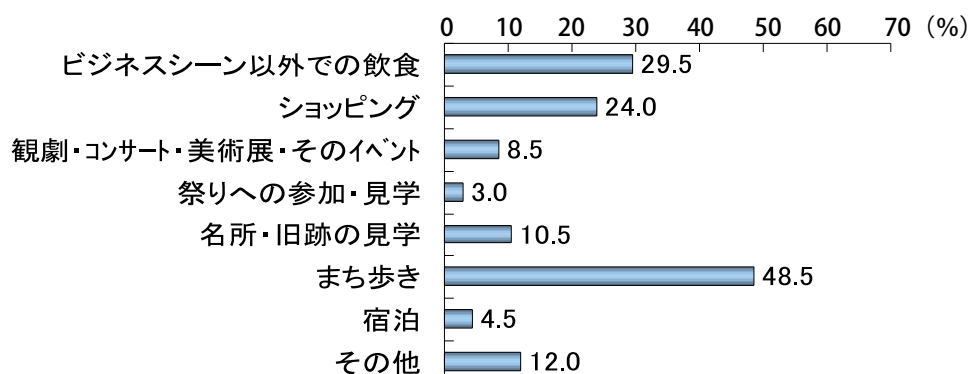
日本橋・京橋エリア



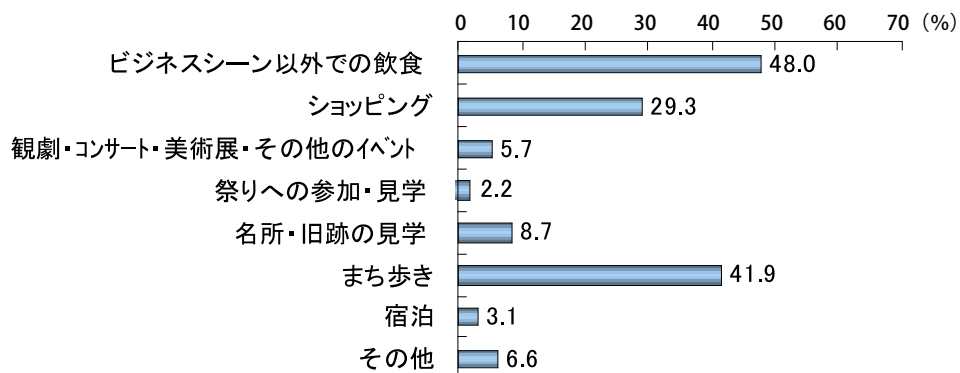
銀座エリア



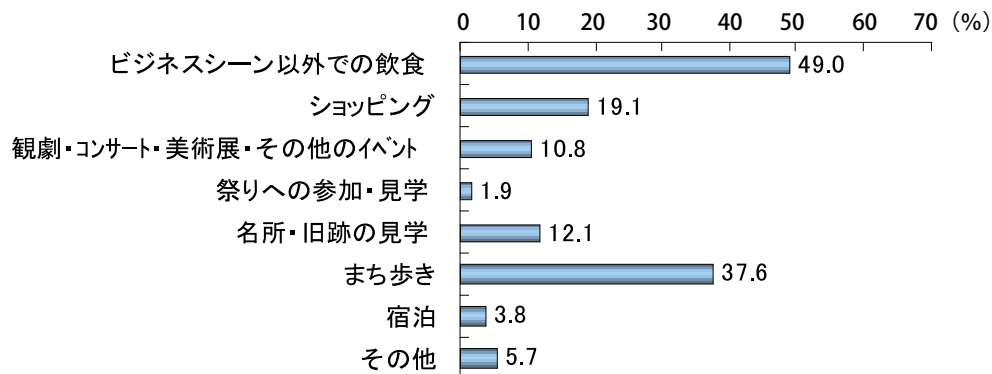
人形町・浜町エリア



築地・明石町エリア



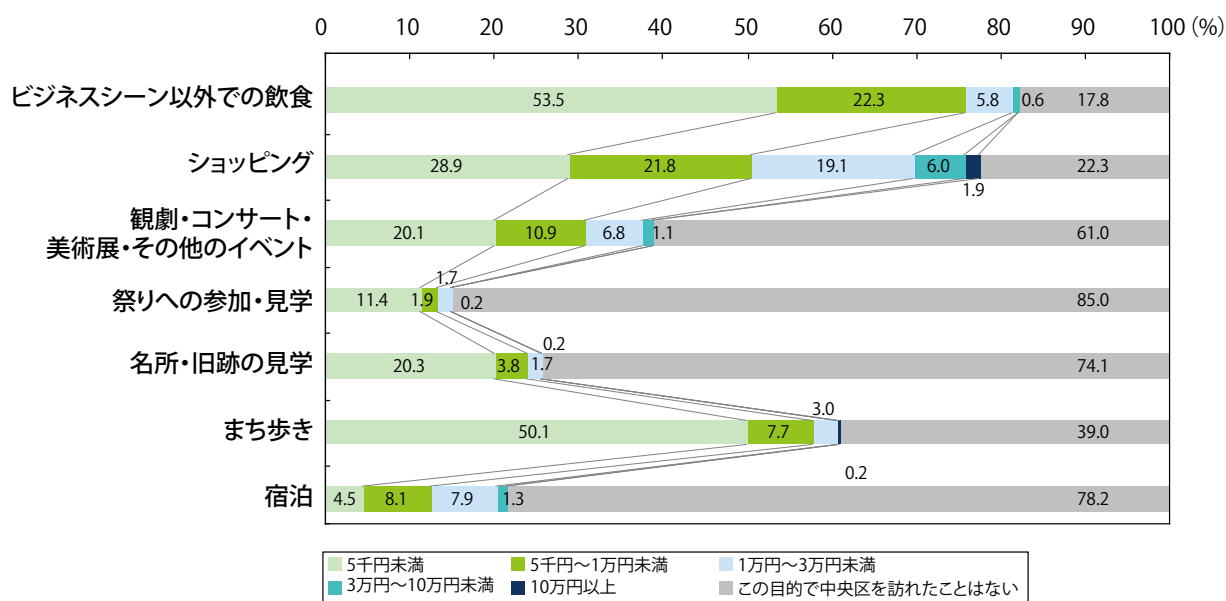
佃・月島・晴海エリア



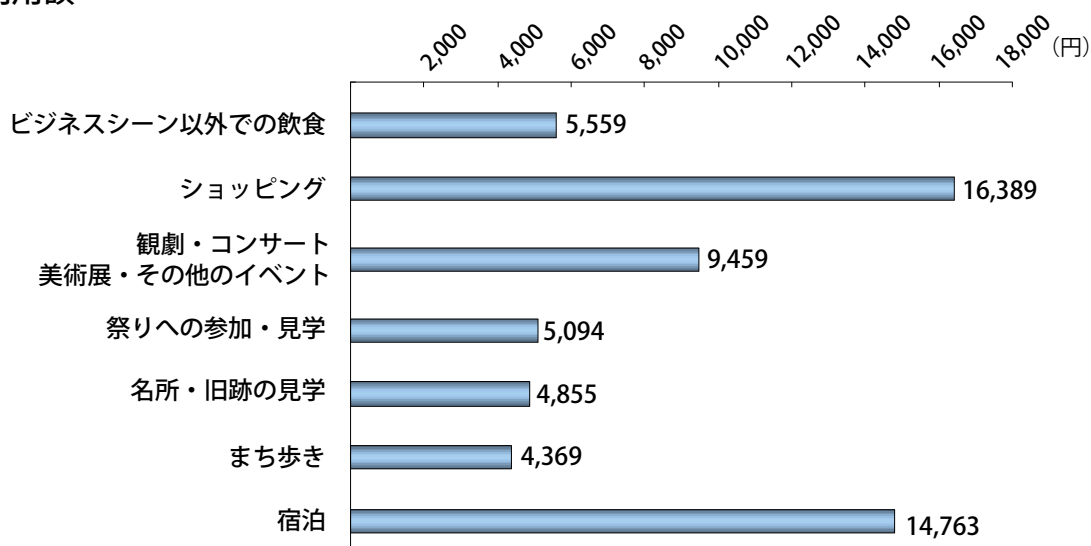
(6) 目的別利用金額 (ウェブ調査)

最近一年間に区外から中央区を訪れた人に目的ごとの利用金額を質問したところ、訪れた人のうち、お金を使う人の比率が高いのは「ビジネスシーン以外での飲食」「ショッピング」「まち歩き」が目的の人となっています。また、一人当たりの平均利用額が大きいのは「ショッピング」と「宿泊」となっています。

目的別利用金額



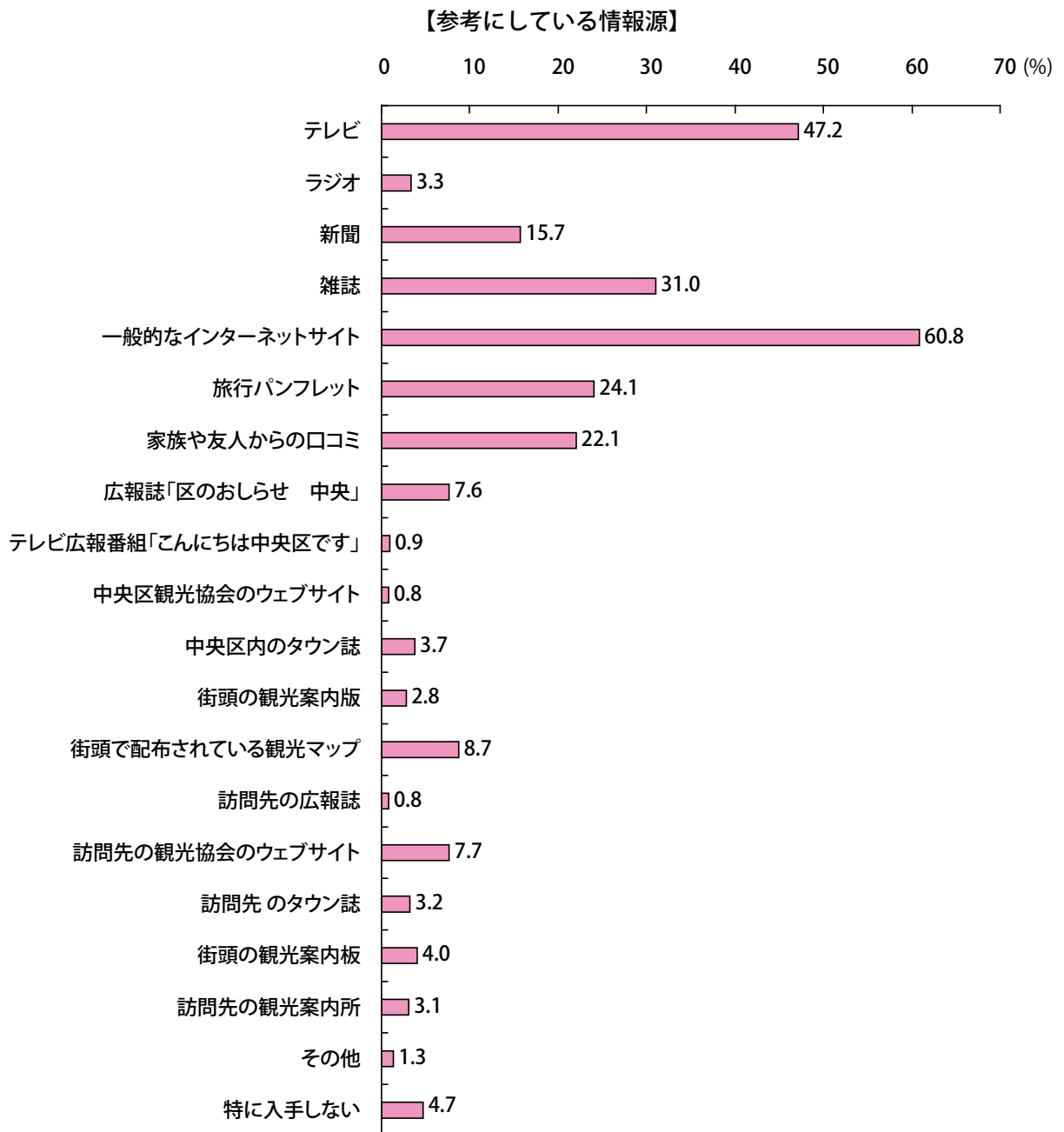
平均利用額



(加重平均で金額を算出)

(7) 観光の参考に使っている情報源 (区民郵送調査 + ウェブ調査)

区民および来街者に、中央区で観光する際に参考に使っている情報源について質問したところ「一般的なインターネットサイト」が最も多くなっています。次いで「テレビ」「雑誌」「旅行パンフレット」「家族や友人からの口コミ」の順となっています。「中央区観光協会のウェブサイト」をはじめ、地域の情報源はあまり利用されておらず、認知度、利用度を高める工夫が求められます。



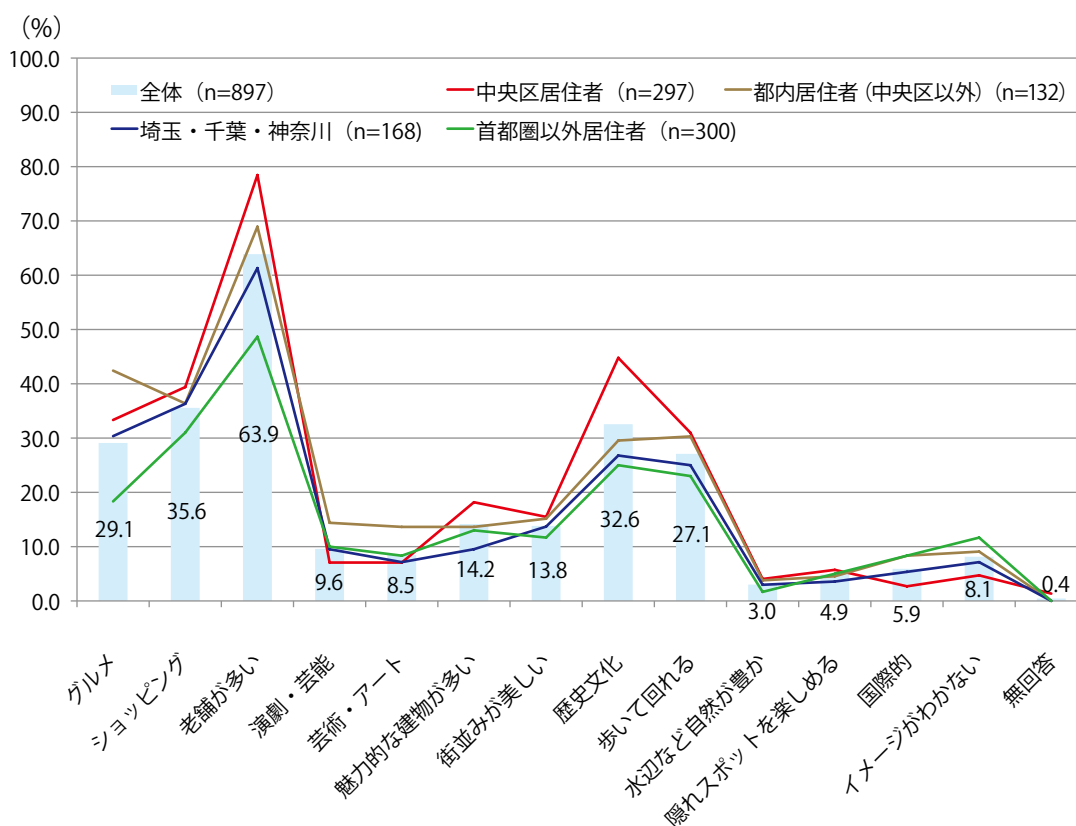
(8) 中央区各エリアのイメージ (区民郵送調査 + ウェブ調査)

各地域全体を見渡すと「グルメ」「老舗が多い」「歩いて回れる」のイメージはどの地域でも共通しています。まちの人々が築き上げ、歩いて回れるスケールのまちというのが中央区の基本イメージとなっています。

日本橋・京橋エリアのイメージ

中央区居住者は「老舗が多い」「歴史文化」のイメージをより強く持っています。

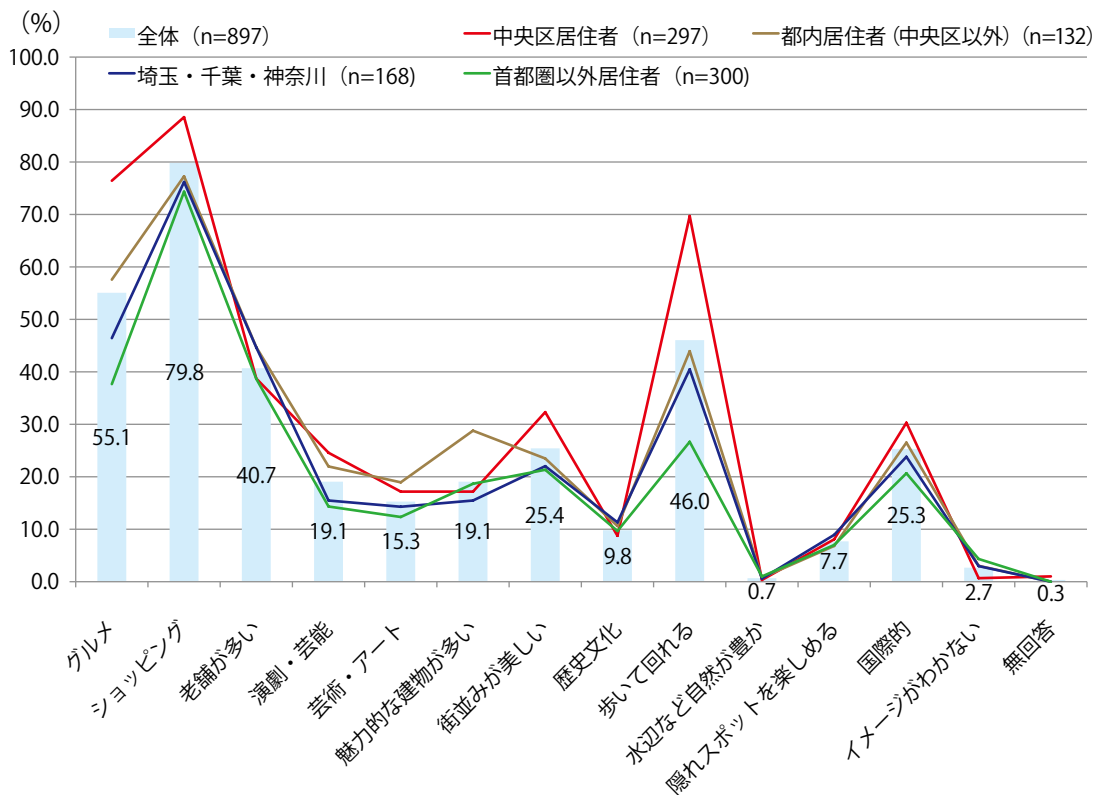
日本橋・京橋エリアは「老舗が多い」「ショッピング」「歴史文化」というイメージが高くなっています。中央区居住者は他地域居住者と比べ「歴史文化」のイメージをより強く持っています。「老舗が多い」というイメージは日本橋・京橋エリアの一番高いイメージですが、居住地が中央区から遠くなるに従って弱くなっています。



銀座エリアのイメージ

「ショッピング」「グルメ」「歩いて回れる」のイメージが高くなっています。

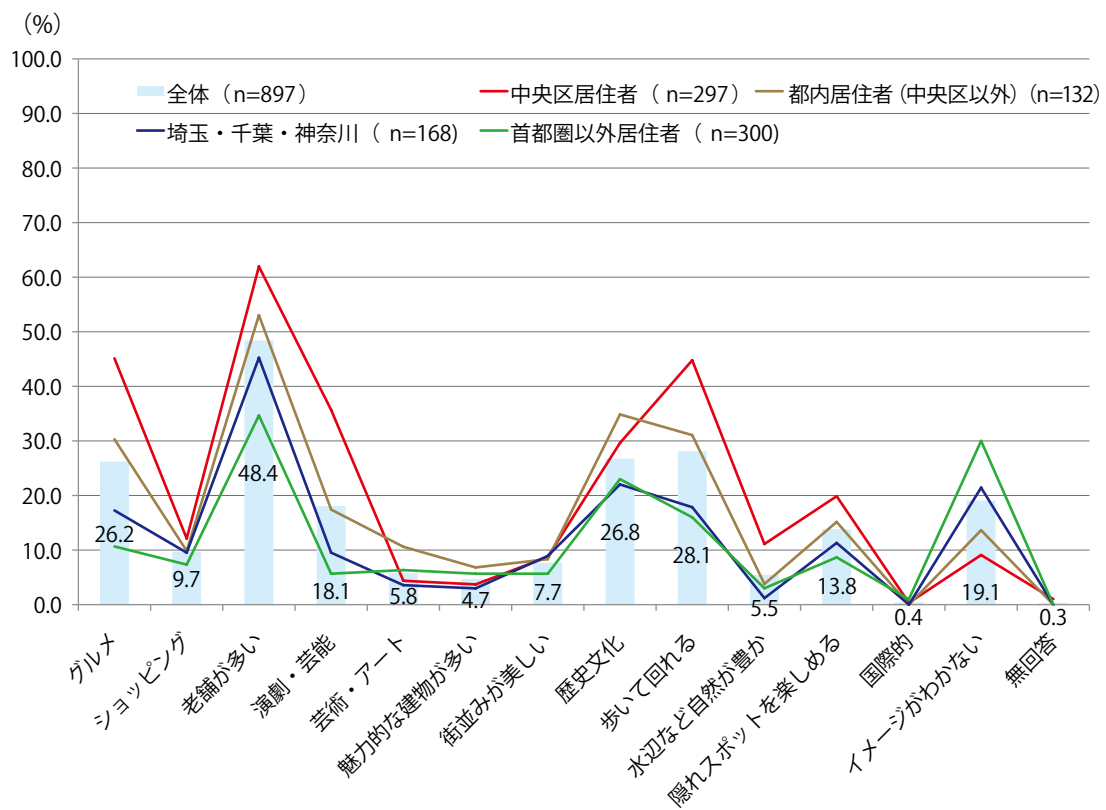
銀座エリアは「ショッピング」「グルメ」「歩いて回れる」というイメージが高くなっています。中央区居住者は他地域居住者と比べ「歩いて回れる」というイメージを強く持っています。また中央区居住者は「街並みが美しい」、都内居住者は「魅力的な建物が多い」の回答率が高くなっており、銀座エリアからの距離が近い人々には街並みが評価されていることが伺えます。



人形町・浜町エリアのイメージ

中央区居住者は「老舗が多い」「歩いて回れる」「グルメ」「演劇・芸能」のイメージを強く持っています。首都圏以外居住者は「イメージがわからない」が高くなっています。

人形町・浜町エリアは「老舗が多い」「歩いて回れる」「歴史文化」というイメージが高くなっています。中央区居住者は他エリア居住者と比べ街を熟知していることもあり「グルメ」「歩いて回れる」というイメージを強く持っています。一方、首都圏以外居住者は「イメージがわからない」人の割合が多く、街の魅力が広く伝わっていないと考えられます。

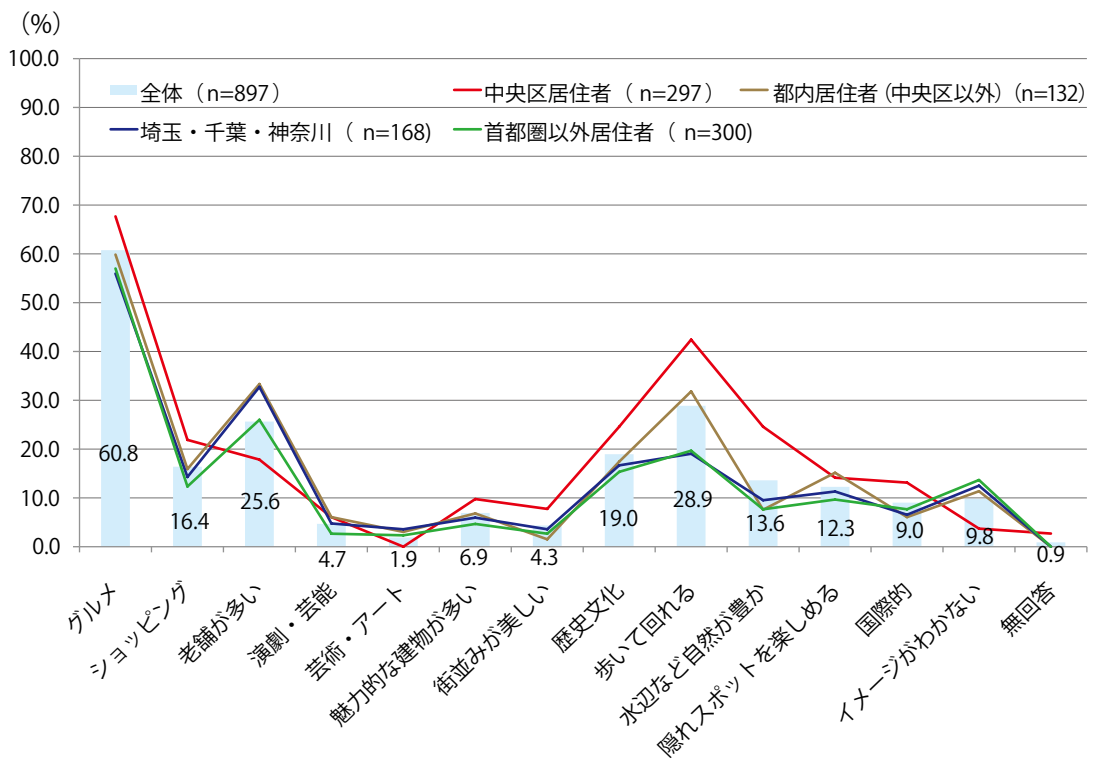


築地・明石町エリアのイメージ

中央区居住者は「歩いて回れる」のイメージが他地域居住者よりも高くなっています。

中央区居住者は「水辺などの自然が豊か」というイメージを持っています。

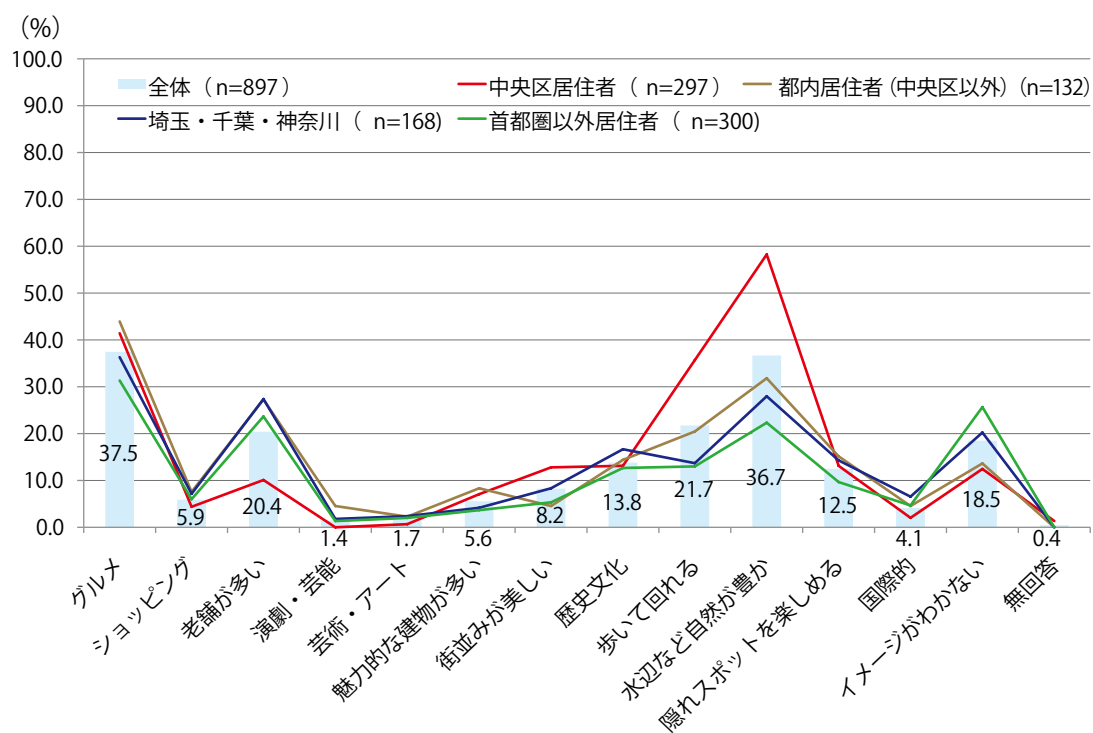
築地・明石町エリアは「グルメ」「歩いて回れる」「老舗が多い」というイメージが高くなっています。全体的には「グルメ」のイメージが高くなっていますが、中央区居住者は他地域居住者と比べ「歩いて回れる」と答える人が多く、まち歩きが楽しめる街だというイメージを持っています。



佃・月島・晴海エリアのイメージ

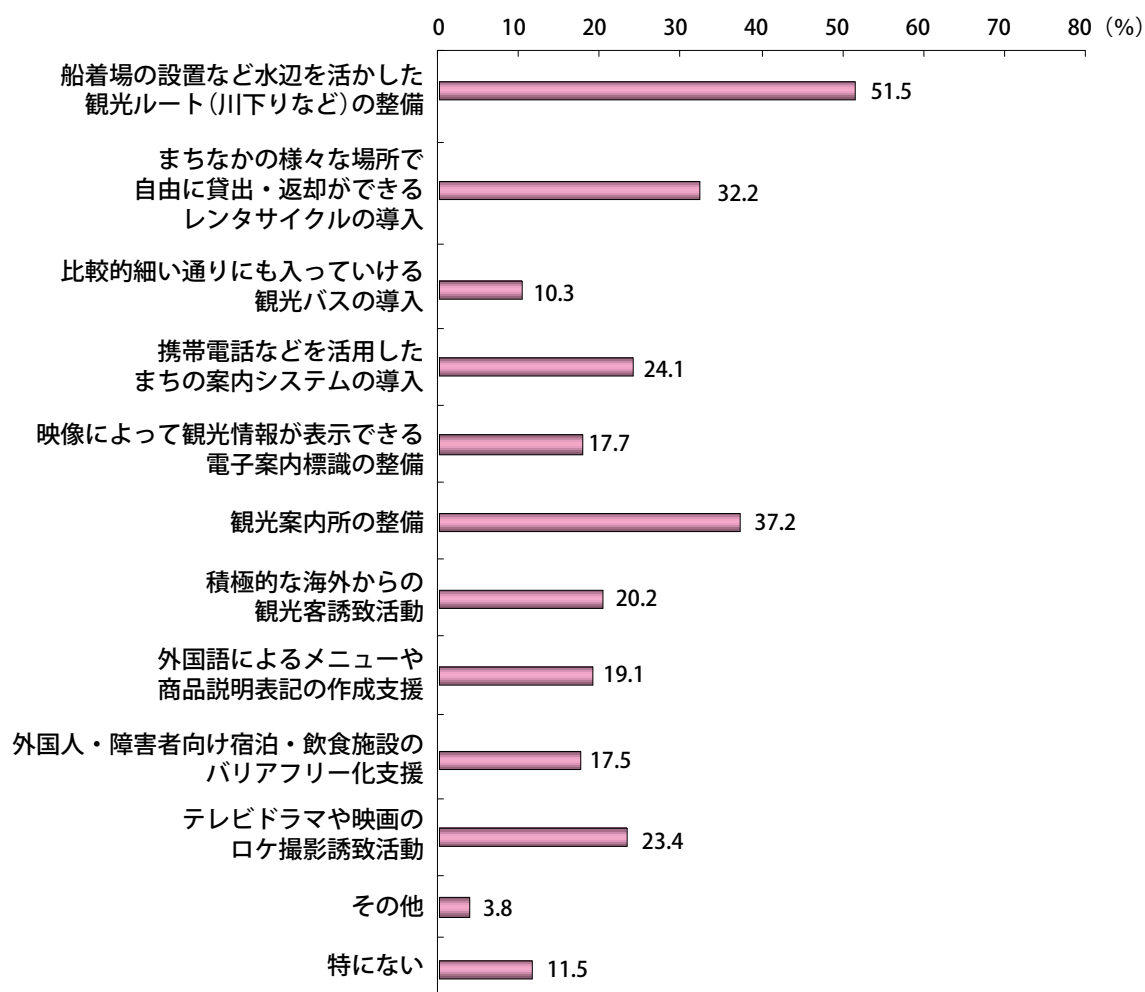
「水辺など自然が豊か」「グルメ」というイメージが最も高くなっています。

佃・月島・晴海エリアは「グルメ」「水辺など自然が豊か」「歩いて回れる」というイメージが最も高くなっています。中央区居住者は他地域居住者と比べ「水辺など自然が豊か」というイメージを強く持っています。首都圏以外居住者は「イメージがわからない」人の割合が多く、水辺の豊かさが伝わっていません。逆に「老舗が多い」というイメージを他地域居住者が持っていることが伺えます。



(9) これから求められる「都市観光」での戦略 (区民郵送調査 + ウェブ調査)

これから求められる「都市観光」での戦略について、区民および来街者に質問したところ、「水辺を活かした観光ルートの整備」が最も高く評価されています。現在、東京都や周辺区でも水辺を活用した取り組みが盛んですが、一般の人々の水辺への関心も高まっていることが伺えます。次いで「観光案内所の整備」「レンタサイクルの導入」の評価が高くなっており、来街者は自分の興味に合った観光情報を探ることができて自由に移動できる環境を求めていることが伺えます。



自由回答に寄せられた主な意見

計画全般

- ・ 銀座地区を世界の繁華街の中でも美しいまちなみに作り上げて欲しい。
- ・ 中央区の観光振興は地方の観光振興とは異なることを認識し、目的をよく議論することが大切。観光振興を通じて区民の交流が深まる方向性であって欲しい。「区のおしらせ」に掲載されている歴史散歩などこれまで蓄積したものを整理し、ノウハウの蓄積を活かせるよう、経費の縮減を図りつつ最大効果に結びつけることも、必要な取り組みと思う。
- ・ 中央区を「江戸・東京」を訪れる起点にしたい。
- ・ 銀座や日本橋は観光できる場所がたくさんありいろいろなイメージが浮かぶが、他の街はかぞえるほどしか浮かばない。どの地域に行っても楽しめるように工夫しないといけない。
- ・ 水辺がきれいなのでその魅力を活かしたい。
- ・ 日本一センスの良い美しい街として大人の女性向けの観光施策に今後も期待する。

交通

- ・ 川、運河を整備し歴史のある水運を活かせる観光があればいいと思う。
- ・ 現在あるものを見に来る人のために、安心してまわることの出来る街にする。歩道の自転車は全面禁止して安全に歩けるようにすべき。
- ・ 隅田川をもっときれいな川にして、船で気軽に回れるルートや船着場の設置整備をしたらいいと思う。
- ・ バスやLRT*など外を見ながら好きなところに降りられる交通機関が欲しい。
- ・ 水辺に近いので船を利用した観光に力を入れて欲しい。
- ・ 隅田川は両国から遊覧船が出ているが中央区から発着できるとよい。
- ・ 日本橋を中心とした川めぐりなどを一年中やって欲しい。川から見たビルの側面も工夫してもらえたらよい。

*LRT(Light Rail Transit)：軽量軌道交通機関。次世代の路面電鉄の路線や車両のこと。

PR

- ・ 銀座を中心に国際的に中央区をアピールして欲しい。
- ・ ショッピングができる施設はたくさんあるので若い人から年配の方まで楽しめる要素は十分ある。せっかく巡回バスが出ているのに、知らない観光客が多いのもったいない。
- ・ 中央区で水上バスの運営を行い、運河から中央区をPRしていけたらよい。
- ・ 中央区は江戸の中心地であった。江戸の痕跡がたくさんあるが意識して見に行かないと見えない。もっと見えるようにならないものか。
- ・ 中央区はとてもきれいな街なのでたくさんの人に来てもらいたい。銀座のように都会的な地域と歴史ある建物が並ぶ地域と様々な顔を持つところが魅力だと思う。観光という意味でまだ発信できるものがある。銀座などにぎやかなところだけでなく月島などの古い街も紹介して欲しい。

(10) 区民郵送調査アンケート票

中央区は地域ごとに様々な異なる魅力を持っています。はじめに、中央区の各地域についておたずねします。分類は中央区観光協会発行のエリア別ガイドマップにもとづき、5地域に分けておたずねします。

【中央区観光協会による5地域】



地域名	含まれる町名
日本橋・京橋地域	日本橋、京橋、茅場町、八重洲、兜町、本町、本石町、室町
銀座地域	銀座
人形町・浜町地域	人形町、馬喰町、横山町、浜町、小舟町、堀留町、富沢町、大伝馬町、小伝馬町、東日本橋、久松町、蛸殻町、箱崎町、小網町、中洲
築地・明石町地域	築地、新富、八丁堀、明石町、入船、湊、新川、浜離宮庭園
佃・月島・晴海地域	佃、月島、勝どき、豊海町、晴海

【中央区の街についておたずねします】

中央区の外から友人・知人など訪問客が来た場合を想定してお答え下さい。

Q1. あなたにとって「ここだけは必ず案内したい」という場所は中央区のどの地域になりますか。あてはまる地域をひとつだけお答え下さい。(○はひとつ)

1. 日本橋・京橋 2. 銀座 3. 人形町・浜町 4. 築地・明石町
5. 佃・月島・晴海 6. どこを案内すれば良いかわからない。

Q1-1. 上記地域を“どんな場所”に案内したいですか。なるべく具体的にお書き下さい。

Q2. 訪問客のタイプ別に分けると、それぞれ案内したい地域はどちらになりますか。あてはまる地域をいくつでもお選び下さい。

A	20代くらいの若いお客様	1. 日本橋・京橋 2. 銀座 3. 人形町・浜町 4. 築地・明石町 5. 佃・月島・晴海 6. どこを案内すれば良いかわからない。
B	子供がいる家族連れ	1. 日本橋・京橋 2. 銀座 3. 人形町・浜町 4. 築地・明石町 5. 佃・月島・晴海 6. どこを案内すれば良いかわからない。
C	40代以上のお客様	1. 日本橋・京橋 2. 銀座 3. 人形町・浜町 4. 築地・明石町 5. 佃・月島・晴海 6. どこを案内すれば良いかわからない。
D	中学生、高校生	1. 日本橋・京橋 2. 銀座 3. 人形町・浜町 4. 築地・明石町 5. 佃・月島・晴海 6. どこを案内すれば良いかわからない。
E	外国の方	1. 日本橋・京橋 2. 銀座 3. 人形町・浜町 4. 築地・明石町 5. 佃・月島・晴海 6. どこを案内すれば良いかわからない。

【中央区のまちのイメージについてお伺いします】

Q 4. 各地域それぞれのイメージをいくつでも選び番号に○をつけてください。その地域をよく知らない場合は「イメージがわからない」に○をつけて下さい。(○はいくつでも)

	地域名	まちのイメージ (あてはまるものはいくつでも)
A	日本橋・京橋	1. グルメ 2. ショッピング 3. 老舗が多い 4. 演劇・芸能 5. 芸術・アート 6. 魅力的な建物が多い 7. 街並みが美しい 8. 歴史文化 9. 歩いて回れる 10. 水辺など自然が豊か 11. 隠れスポットを楽しめる 12. 国際的 13. イメージがわからない
B	銀座	1. グルメ 2. ショッピング 3. 老舗が多い 4. 演劇・芸能 5. 芸術・アート 6. 魅力的な建物が多い 7. 街並みが美しい 8. 歴史文化 9. 歩いて回れる 10. 水辺など自然が豊か 11. 隠れスポットを楽しめる 12. 国際的 13. イメージがわからない
C	人形町・浜町	1. グルメ 2. ショッピング 3. 老舗が多い 4. 演劇・芸能 5. 芸術・アート 6. 魅力的な建物が多い 7. 街並みが美しい 8. 歴史文化 9. 歩いて回れる 10. 水辺など自然が豊か 11. 隠れスポットを楽しめる 12. 国際的 13. イメージがわからない
D	築地・明石町	1. グルメ 2. ショッピング 3. 老舗が多い 4. 演劇・芸能 5. 芸術・アート 6. 魅力的な建物が多い 7. 街並みが美しい 8. 歴史文化 9. 歩いて回れる 10. 水辺など自然が豊か 11. 隠れスポットを楽しめる 12. 国際的 13. イメージがわからない
E	佃・月島・晴海	1. グルメ 2. ショッピング 3. 老舗が多い 4. 演劇・芸能 5. 芸術・アート 6. 魅力的な建物が多い 7. 街並みが美しい 8. 歴史文化 9. 歩いて回れる 10. 水辺など自然が豊か 11. 隠れスポットを楽しめる 12. 国際的 13. イメージがわからない

【中央区が行なっている観光に関わる事業についておたずねします】

Q 5. 中央区で行っている次の観光事業について、どの程度ご存じですか。
以下の項目からあてはまるものに○をつけて下さい。

	事業名	各事業の認知状況（○はひとつだけ）
A	中央区観光検定 	1. 良く知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない
B	観光写真 コンクール 	1. 良く知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない
C	中央区 観光大使 ミス中央 	1. 良く知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない
D	中央区観光協会 特派員制度 	1. 良く知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない

	事業名	各事業の認知状況（○はひとつだけ）
E	観光協会 オリジナル商品 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 良く知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない
F	中央区文化財 サポーター 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 良く知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない
G	様々な 観光情報マップ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 良く知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない
H	中央区観光協会 ホームページ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 良く知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない

【これからの観光のあり方についてお伺いします】

Q 6. 中央区では観光の拠点となる施設の設置を検討しています。この施設にはどんな機能や場があると良いと思いますか。以下の項目からあてはまるものに○をつけて下さい。(○はいくつでも)

1. 観光客が街の情報を得ることができる機能
2. 中央区の歴史や文化を伝える機能
3. 中央区の名産品が購入できるコーナー
4. 観光の途中にゆったりとくつろげるスペース
5. 観光を支えるボランティアなど、区民が気軽に集まり交流ができるスペース
6. ガイドツアーの情報が集まる、まち歩きツアーの出発ステーションとしての機能
7. その他 (具体的にお書き下さい)

Q 7. 今後、中央区が推進する観光施策として、どんな施策が必要だと思いますか。以下の項目からあてはまるものに○をつけて下さい。(○はいくつでも)

1. 船着き場の設置など水辺を活かした観光ルート (川下りなど) の整備
2. まちの様々な場所で自由に貸出・返却ができるレンタサイクルの導入
3. 比較的細い通りにも入っていける観光バスの導入
4. 携帯電話などを活用したまちの案内システムの導入
5. 映像によって観光情報が表示できる電子案内標識の整備
6. 観光案内所の整備
7. 積極的な海外からの観光客誘致
8. 外国語によるメニューや商品説明表記の充実
9. 外国人・障害者向け宿泊・飲食施設のバリアフリー化
10. テレビドラマや映画のロケ撮影誘致活動
11. その他 ()
13. 特にない

(11) ウェブ調査アンケート票

ウェブアンケート調査票

中央区の観光全般についてお伺いします。

Q1. あなたは次の地域に、最近一年間“お仕事以外”で、何回程度行った事がありますか。

それぞれ当てはまるものをひとつ選び、番号に○をつけてください。

※地域別に1～5を各々選択

〔地域〕

A. 日本橋・京橋 B. 銀座 C. 人形町・浜町 D. 築地・明石町
E. 佃・月島・晴海

1. 1回 2. 2回 3. 3回以上 4. 行ったことがない
5. この地域を知らない

Q2. あなたは下記の目的で中央区の街を訪問したことがありますか。それぞれ当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。訪れたことがない地域については「特になし」をお選び下さい。※地域別に1～8を各々選択

〔地域名〕

A. 日本橋・京橋 B. 銀座 C. 人形町・浜町 D. 築地・明石町
E. 佃・月島・晴海

1. ビジネスシーン以外での飲食 2. ショッピング 3. 観劇・コンサート・美術展・その他のイベント 4. 祭りへの参加・見学 5. 名所・旧跡の見学 6. まち歩き 7. 宿泊 8. 特になし

Q3. 中央区を訪問した目的別に消費金額をお聞かせください。同じ目的で複数お出かけになった場合は、1回当たりのおおよその滞在時間と消費金額をそれぞれ一つ選んで下さい。

※目的別に消費金額1～6を選択

A. ビジネスシーン以外での飲食 B. ショッピング C. 観劇・コンサート・美術展・その他のイベント D. まち歩き E. 宿泊

1. 5,000円未満 2. 5,000～10,000円未満 3. 10,000～30,000円未満
4. 30,000～100,000円未満 5. 100,000円以上 6. この目的で中央区に来たことはない

Q4. 各地域それぞれのイメージをいくつでも選び番号に○をつけてください。その地域をよく知らない場合は「イメージがわからない」に○をつけて下さい。(○はいくつでも)

〔街名〕

A. 日本橋・京橋 B. 銀座 C. 人形町・浜町 D. 築地・明石町
E. 佃・月島・晴海

1. グルメ 2. ショッピング
3. 老舗が多い 4. 演劇・芸能
5. 芸術・アート 6. 魅力的な建物が
多い
7. 街並みが美しい 8. 歴史文化
9. 歩いて回れる 10. 水辺など自然が
豊か
11. 隠れスポットを楽しめる 12. 国際的
13. イメージがわからない

Q5. 今後、中央区が推進する観光施策として、どんな活動が良いと思われるか。以下の項目からあてはまるものをお知らせ下さい。(○はいくつでも)

1. 船着き場の設置など水辺を活かした観光ルート(川下りなど)の整備
2. まちなかの様々な場所で自由に貸出・返却ができるレンタサイクルの導入
3. 比較的細い通りにも入っていきける観光バスの導入
4. 携帯電話などを活用したまちの案内システムの導入
5. 映像によって観光情報が表示できる電子案内標識の整備
6. 観光案内所の整備
7. 積極的な海外からの観光客誘致活動
8. 外国語によるメニューや商品説明表記の作成支援
9. 外国人・障害者向け宿泊・飲食施設のバリアフリー化支援
10. テレビドラマや映画のロケ撮影誘致活動
11. その他
12. 特になし

観光情報の入手経路についてお伺いします。

Q6. あなたはどんなところから観光情報を入手しますか。特に参考にしているものを3つお選び下さい。

1. テレビ 2. ラジオ 3. 新聞 4. 雑誌 5. 一般的なインターネット(情報サイト、口コミサイト) 6. 旅行・パンフレット
7. 家族や友人など周りの人からの口コミ
8. 訪問先の広報誌 9. 訪問先の観光協会のウェブサイト
10. 訪問先のタウン誌
11. 街頭の観光案内板 12. 街頭で配布されている観光マップ
13. 訪問先の観光案内所
14. その他()
15. 特に入手しない

最後にあなたご自身のことについて、お伺いします。

F1. 性別 男性 女性

F2. ご年齢 20代 30代 40代 50代 60代以上

F3. ご職業 1. 会社役員・経営者 2. 会社員
3. 教員・公務員・団体職員 4. 自営業
5. 専業主婦 6. 学生 7. その他()

F4. 家族数 1人 2人 3人 4人 5人以上

F5. 居住地 東京都()市区町村 神奈川県()市町村
千葉県()市町村 埼玉県()市町村
その他()道府県

以上で終了です。ご協力有難うございました。

2 観光関係者ヒアリング

(1) 調査の目的

中央区の観光にかかわる活動を行っている方々を対象に区の観光振興に対する考え方についてヒアリングを行いました。

(2) ヒアリング対象者

- 地域関係団体
 - ・ 全銀座会
 - ・ 銀座通連合会
 - ・ 中央区商店街連合会
 - ・ 中央区観光協会
 - ・ 名橋「日本橋」保存会
- 旅行関係事業者
 - ・ マンダリンオリエンタル東京
- 区民活動関係団体
 - ・ 中央区文化財サポーター協会
 - ・ NPO法人東京シティガイドクラブ

(3) ヒアリング期間

平成23年（2011年）10月13日（木）～25日（火）

(4) 主な意見

1) 中央区の観光の状況

- ・東日本大震災以降、地元で買い物をする人が増え、その結果、中央区は来街者が減少している。今後は国内からの観光客誘致にも力を入れなくてはならないと考えている。
- ・中央区は町人の街である。特に古い商店街は町人文化が集積した場所である。地域ではそういった魅力を伝えようとメディアへの情報発信など独自の取り組みをしている。
- ・商店街にとっては、観光の主体が商店街そのものである必然性はなく、どのような主体の活動であっても人が集まってくればビジネスチャンスが増えるので非常に有り難い。
- ・中央区内の観光を推進する組織として中央区観光協会があるが、組織としてまだ基盤が弱いと感じている。
- ・当面の日本の観光客誘致目標は年間 900 万人。ロンドン、パリ、ニューヨークが 1 都市で年間 2,000 万人を集客していることを考えると、国としての取り組みがまだ弱いといえる。
- ・外国人観光客に人気が高いのは日本的なイメージをわかりやすく体験できる場所や、イベントである。東京では浅草寺雷門や明治神宮が、「食」では回転寿司が人気の観光スポットであり、漢字入りTシャツがお土産として喜ばれている。モダンな都市景観と歴史が混ざり合っているところが東京の魅力である。
- ・まち歩き参加者の半数は地方からの観光客で、修学旅行生もいれば、中には歴史愛好家で目的意識の高い人もいる。
- ・まち歩き参加者は女性客が 7 割、年齢層では 60 ～ 70 代が中心となっている。一部ではあるが観光協会を通じて、海外からの観光客を受け入れている。
- ・中央区は歩きやすい街であり、区外からの観光客に対して様々なまち歩きコースを提供できる。
- ・日本橋エリアは海外のガイドブックにほとんど掲載されていない。
- ・江戸から続く歴史と町人文化は十分な観光資源である。例えば日本の伝統的な衣装である着物を着た人が街を歩いているなど、海外の都市に比べると生活の中に文化が生き残っているのが特色である。しかし、その特色を観光に活かしてきれていないのが現状である。
- ・海外に向けた観光情報の多くは日本人が日本人向けに発信した情報を単純に翻訳したものが多く、日本人向けと外国人向けとでは視点が合っていない場合が多い。

2) 中央区の観光に必要なこと

- ・観光に関する予算を集中的に使うコンテンツを決め、そこに人的資源も含め注力したほうが良い。企業からの協力も受けやすくなるだろう。
- ・観光への取り組みの企画立案は商店街の青年部のような若手中心の組織が望ましい。若手の活動に予算を預けてみてはどうか。まちの財産は人材であると思う。
- ・銀座への居住を促進するなど新たな都心型ライフスタイルの提案が必要だと思う。
- ・区外の近隣地域との連携を図っていききたい。民間レベルでは様々な活動があり、新しいプロジェクトが生まれる可能性がある。
- ・隅田川を活かした観光を検討したい。隅田川の両岸に接しているのは中央区のみであり、具体的な施策として長崎レガッタレースなどの誘致や隅田川テラスを活用したカフェなども考えられる。
- ・今後求められる観光のスタイルは、その地域ならではの都市文化を体験する「体験型」である。
- ・地域住民の協力も不可欠である。地域住民も含めて来街者を迎え入れる環境を作らないといけない。
- ・区の中に観光専門の組織があることが望ましい。観光インフラの整備や来街者の研究調査、また国や都との連携役を担ってもらうことも大切だ。
- ・隅田川に接する4区（中央区、江東区、墨田区、台東区）とは民間レベルで2ヶ月に1回の頻度で会合を持っている。こういった民間の連携に行政が参加してくれば良いと考える。
- ・「中央区観光拠点（仮称）」については5年後、10年後のイメージをしっかりと決めておくべき。民間が先頭に立って活動をしていくので区はそのサポートをして欲しい。
- ・老舗の暖簾をアイキャッチにするなどPRにもっと力を入れて欲しい。海外からの来街者に対してはわかり易い記号性のある活動が必要となる。
- ・海外から見た時、東京は観光都市として十分とはいえない。まずは英語表記の案内板設置など最低限のインフラ整備をお願いしたい。
- ・まち歩きの参加者からは、食文化や建築、ファッションなど文化財という領域を超えて多岐に渡る質問が寄せられることが多い。様々なテーマに対してきちんとガイドが出来るよう、受け皿作りを検討したほうが良い。
- ・口コミを活用した情報発信に力を入れ、来街者による評価を集めていきたい。地域住民の協力も外部評価が入ると地域の誇りに結びつき易くなる。

- ・海外からの観光客は自分と同じ観光客の評価を気にする傾向が強く、外国人による口コミ情報を届けられる情報発信の手段が必要となる。
- ・観光客は行政単位の区割りには関心がなく、行政単位とは異なる視点で対応していく必要がある。
- ・現状は観光客の受け入れ体制が整っておらず、海外からの観光客は多くない。長い目で街の再開発を行いながら、民間主体で整備に取り組み、不動産会社や建設会社、百貨店など企業が民間の活動に参画できることが重要であると考えます。
- ・水辺は大きな財産である。船着場の整備を進め、川と親しめるようにすることが望まれる。
- ・富裕層もターゲットとして考えると中央区は六本木や日比谷、丸の内といったエリアと競合していると考えられる。また現状の顧客はビジネス客が多いが、今後は観光目的の顧客をもっと増やしていきたい。

3 中央区観光振興ビジョン策定委員会について

中央区観光振興ビジョン策定委員会 名簿

	氏名	所属・役職
委員長	陣内 秀信	法政大学デザイン工学部建築学科教授 中央区立郷土天文館館長 中央区文化振興プロデュースチーム座長
副委員長	大内 浩	芝浦工業大学工学部建築工学科教授
	岡本 哲志	法政大学サステナビリティ研究教育機構研究員 法政大学エコ地域デザイン研究所兼任研究員 岡本哲志都市建築研究所代表
	馬場 正尊	OpenA 代表 東京 R 不動産 運営・制作ディレクター
	竹沢 えり子	中央区文化振興プロデュースチーム 銀座街づくり会議企画担当
	堺 美貴	月刊「日本橋」代表
	秋友 一美	中央区文化振興プロデュースチーム 中央区観光協会事業企画委員 晴海コーポレーション総務部長
	王 鈴英	中央区文化・国際交流振興協会ボランティア
	斎藤 裕文	中央区企画部長
	齋藤 弘	中央区区民部長

策定委員会 開催概要

	会議	開催	議題
第1回	策定委員会	平成 23 年 (2011 年) 7 月 1 日 (金)	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員長、副委員長選出 2 ビジョン策定の考え方について 3 中央区の観光イメージの共有 4 専門委員会の設置 5 委員会のスケジュールと検討の進め方
第2回	策定委員会	平成 23 年 (2011 年) 9 月 1 日 (木)	<ol style="list-style-type: none"> 1 観光振興ビジョン策定にあたって 2 観光戦略専門委員会からの報告 3 情報発信専門委員会からの報告
第3回	策定委員会	平成 23 年 (2011 年) 11 月 15 日 (火)	<ol style="list-style-type: none"> 1 各専門委員会からの報告 2 アンケート調査の速報について 3 観光振興ビジョンの全体構成について 4 基本理念について
第4回	策定委員会	平成 23 年 (2011 年) 12 月 15 日 (木)	<ol style="list-style-type: none"> 1 中央区観光振興ビジョン 2012 報告書について
第5回	策定委員会	平成 24 年 (2012 年) 3 月 21 日 (水)	<ol style="list-style-type: none"> 1 パブリックコメントについて 2 中央区観光振興ビジョン 2012 (最終稿) について 3 総括と今後の展開に向けた意見交換

専門委員会について

観光戦略専門委員会 名簿

- 委員長 岡本 哲志 (策定委員兼務)
- 竹沢 えり子 (策定委員兼務)
- 王 鈴英 (策定委員兼務)
- 紫牟田 伸子 (株)日本デザインセンター チーフプロデューサー
編集者
- 鶴本 浩司 (株)ツーリズム・マーケティング研究所 客員研究員
(株)マーケティング・ボイス 代表取締役社長
「週刊トラベルジャーナル」連載コラムニスト

観光戦略専門委員会 開催概要

	会議	開催日	議題
第1回	観光戦略 専門委員会	平成 23 年 (2011 年) 7月1日(金)	第1回策定委員会と同時開催 まち歩きによる中央区の観光の魅力の確認
第2回	観光戦略 専門委員会	平成 23 年 (2011 年) 8月11日(木)	1 観光戦略専門委員会の進め方について 2 観光振興ビジョンのねらいについて 3 中央区来街者意識調査について
第3回	観光戦略 専門委員会	平成 23 年 (2011 年) 10月4日(火)	1 観光振興ビジョンの全体構成について 2 観光戦略について 3 重点施策について 4 基本理念について
第4回	観光戦略 専門委員会	平成 23 年 (2011 年) 11月8日(火)	1 観光振興ビジョン全体構成について 2 観光振興ビジョンの推進について 3 中長期スケジュールについて

情報発信専門委員会 名簿

委員長	馬場 正尊	(策定委員兼務)
	堺 美貴	(策定委員兼務)
	秋友 一美	(策定委員兼務)
	伊藤 香織	東京理科大学理工学部建築学科准教授
	加藤 文俊	慶應義塾大学環境情報学部教授

情報発信専門委員会 開催概要

	会議	開催日	議題
第1回	情報発信 専門委員会	平成 23 年 (2011 年) 7月1日(金)	第1回策定委員会と同時開催 まち歩きによる中央区の観光の魅力の確認
第2回	情報発信 専門委員会	平成 23 年 (2011 年) 7月22日(金)	1 都市情報センター事例紹介 2 観光拠点の現状説明 3 情報発信すべき中央区の観光テーマについて
第3回	情報発信 専門委員会	平成 23 年 (2011 年) 8月19日(金)	1 情報発信について 2 新しい観光のアイデア・ワークショップ 3 観光拠点の効果的な活用
第4回	情報発信 専門委員会	平成 23 年 (2011 年) 10月28日(金)	1 基本理念について 2 重点施策のプロジェクトについて 3 観光拠点の役割について

中央区観光振興ビジョン2012

歴史と未来が交差する
「都市観光のまち」へ

平成24年3月発行

刊行物登録番号
23-102

発行 中央区区民部商工観光課
東京都中央区築地一丁目1番1号
03-3546-5328・5329

印刷 株式会社トータルメディア開発研究所

表紙等の写真は、中央区観光協会の協力により
「中央区観光写真コンクール」の入賞作品を使用しております。



中央区

